

“スペースシャトル・エンデバー号(STS-118)のミッション状況”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

★ミッションは順調に進行中:着陸は8月22日午前1時32分の予定

スペースシャトル・エンデバー号(STS-118)は、国際宇宙ステーション(ISS)での作業を全て終え、8月19日午後8時56分(米国中部夏時間8月19日午前6時56分)にISSから分離しました。エンデバー号は8月22日午前1時32分(米国東部夏時間8月21日午後0時32分)にNASAケネディ宇宙センター(KSC)に着陸する予定です。

NASAは、エンデバー号の耐熱タイルの損傷(約9cm×6cm)について、帰還に問題がないと判断し、船外活動による修理は行わないことを決定しました。また、エンデバー号の飛行スケジュールについて、ミッション中の飛行管制を行うNASAジョンソン宇宙センター(JSC)へ、ハリケーン「ディーン」が接近する可能性があるため、着陸を1日早め、ISSからのエンデバー号の分離を1日早めました。

ドッキング期間中の8月15日午後11時37分から、5時間28分にわたる第3回船外活動が行われ、P6トラスの移設に備えた作業などが実施されました。この船外活動中、8月16日午前3時54分の宇宙服の目視点検で、リチャード・マストラキオ宇宙飛行士のグローブに損傷が確認されたため、船外活動は一部の作業を残して終了されました。クルーの安全性に問題はありませんでした。8月18日午後10時17分からは、5時間2分にわたる第4回船外活動が行われ、第3回船外活動で実施できなかった作業のほか、「きぼう」日本実験棟の組立てに備えて、ISSにセンサ付き検査用延長ブーム(Orbiter Boom Sensor System: OBSS)を固定するための機構をS1トラスに設置する作業などが実施されました。

また、バーバラ・モーガン宇宙飛行士は、ドッキング期間中に2回の教育イベントを行いました。

STS-118ミッションの最新情報や詳細は以下のホームページをご覧ください。

●STS-118ミッション

<http://iss.jaxa.jp/iss/13a.1/index.html> (JAXA: 日本語)

http://www.nasa.gov/mission_pages/shuttle/shuttlemissions/sts118/index.html (NASA: 英語)



教育イベント(飛行7日目)



第3回船外活動(飛行8日目)



第4回船外活動(飛行11日目)



ISSからの分離(飛行12日目)

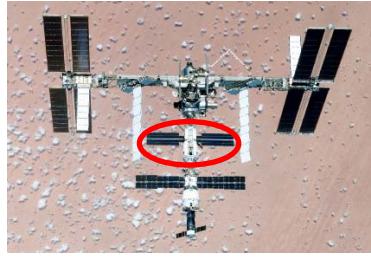
“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

★最初のISS構成要素打上げから3196日経過しました

★第15次長期滞在クルーのISS滞在は133日

(クレイトン・アンダーソン宇宙飛行士は71日)経過しました

★ISS動向

2007年8月時点(STS-118分離後)のISS
(赤い丸印がザーリヤ)(提供: NASA)

第15次長期滞在クルーのフョードル・ユーリチキン、クレイトン・アンダーソン、オレック・コトフ宇宙飛行士は、8月19日にSTS-118クルー7名をISSから送り出し、3名での作業に戻りました。

1998年11月当時のISS(ザーリヤ)
(提供: NASA)

8月15日午前0時17分には、ISSの基本機能モジュール「ザーリヤ」が、地球周回軌道上における50,000周回を達成しました。ザーリヤは、1998年11月20日に、ロシアのプロトンロケットによりカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打ち上げられたISSの最初の構成モジュールです。

■「きぼう」打上げキャッチフレーズ募集中!(9月18日まで) → http://kibo.jaxa.jp/archive/2007/05/catch_phrase.html

■星出宇宙飛行士ジャーナル“Tsukuba, Station, S/G1”掲載中 → <http://iss.jaxa.jp/astro/hoshide/journal/>

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiクリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼう Wi-Fiクリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiクリーニュースから転載した旨を記述ください。